

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月21日(18:30~19:50)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 松見、田中、藤本、濱本、奥村、清水、上古、安川、山中、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	9	1		14

**前回の改善計画**  
利用はじめは特に、不安なく過ごしていただけるよう、職員からの丁寧で積極的なアプローチを行う。訪問時など、毎回、自ら職員の名前を名乗りご本人・ご家族に知っていただき安心感を得てもらうよう努めるとともに、自分自身に責任を課すことができるようにして仕事に努める。  
ご本人のニーズと共に、ご本人の生活を支えるためにご家族の思いなども丁寧に汲み取り、正確な情報共有が図れるように努める。正確でより良い情報共有のための方法について検討する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
積極的に関わりが持てるように努めている。訪問時にも自ら名前を名乗るよう努め、支援を行う前に、何をさせてもらうか伝えてから支援を行っている中で、ご家族との関係が良くなったケースもある。  
ご家族との関係作りについて、本人の支援を行いながらも、ご家族と直接関われる機会が少ない。話ができるタイミングなどでは、コミュニケーションが取れるよう努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	6	2		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	2		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	2		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10	3		14

**できている点** 200字以内で、できていることと、その理由を記入すること  
事前に訪問や面接等で情報収集できている。その後、関係ができる中で徐々に得る情報も多くある。良い関係を築くためにも訪問時、職員が名前を伝えてから関るように努め、支援前に何をするのかお伝えしてから支援を行い、安心・信頼していただけるよう努めている。  
ご本人の情報やニーズに関して、知りえた情報はミーティング等で情報共通に努めている。また、情報共有すると共に記録に残すことで、その後の変化などにも配慮できるように努めている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
職員も初めての関わりの中で、緊張しどのような会話をしてよいのかと、迷いや不安に思うこともあり、相手に伝わってしまっているのではないかと感じることもある。  
ご本人やご家族等の表面的な思いだけでなく、本質的なニーズや思いを知ることが大切だと思う。情報を発信する際に、受け手側が把握しやすいように心がける必要がある。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
事前訪問や面接等で得た情報の共有をミーティング等で行う。  
安心・信頼していただけるよう、職員一人ひとりが配慮したり、気遣ったりしていること等を意見・情報交換する機会を持ち、丁寧な関りに努める。  
普段からあいさつの後に、一言その方だけに対する言葉をかけるよう心掛け、話してもらいやすい関係や環境を作れるよう意識する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月21日(18:30~19:50)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 松見、田中、藤本、濱本、奥村、清水、上古、安川、山中、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9	5		14

**前回の改善計画**  
お一人おひとりの自己実現のための目標設定として、ご本人の想いを聴き、ご本人の望む生活を一緒に考える機会が持てるように努め、ケア計画書に盛り込んでいく。  
よりよい生活のため、社会的機能の維持・獲得や身体機能の維持・向上のため、維持期に深くかかわる介護職としてのリハビリが提供できる知識・技術を学ぶ機会を持つ。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
個別担当を中心に積極的に関わりを持ちながら、ご本人の想いや話を聞くよう努め、得た情報をミーティング等で発信し共有するように努めてきたが、ケア計画の変更までは難しく、更新等の作成の際には配慮し計画に反映させてきた。実際のケアへ反映させるためには、さらに共通理解が必要であると思われる。  
できる範囲でのリハビリの実施等も行ってきたが、支援の幅を広げるために、新たに知識や技術を得ることができるよう、取組として継続していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		5	9		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	7		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8	6		14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	8	4		14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
担当職員を中心に、できる限りご本人の想いを聴かせていただき、目標設定が行えるように努めてきた。目標を実現していくために、ミーティング等でも情報交換を行い、全体への意識づくりにもつなげている。  
ケア計画書等の変更までなくとも、大事にしたいことなどは、日々のミーティングで、細かな対応や一過性な物などの相談を行いながら支援に当たっている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
ご本人が望む生活を知りえたとしても、必要なケアへ反映させるところまでは、難しいと思えることがある。チーム全体で理解を深め取り組んでいくことが課題と思われる。  
ご自分の想いや考えをうまく伝えることが難しいご利用者への理解・対応に難しさを感じることもある。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
ご本人の想いを聴き、ご本人の望む生活を一緒に考える機会が持てるように努め、即時対応可能な希望・要望に対しては、できる限り早期の対応に心がける。小さな対応でも即時に対応できることで、想いを伝えてもらいやすい関係づくりに努める。  
目標達成に必要な手段や方法をより多く提供することができるために、支援者としての様々な知識や技術をより多く身につけられるよう学ぶ機会を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月21日(18:30~19:50)

3. 日常生活の支援

メンバー 松見、田中、藤本、濱本、奥村、清水、上古、安川、山中、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	9	3		14

**前回の改善計画**  
ご本人の生活状況を定期的に見直す機会を持つ。  
日々の記録についても、より正確にわかりやすく記入するとともに、情報の共有となるよう努める。  
支援するために必要な基本的な介護技術の獲得と現在の効果的な福祉用具等の情報の獲得や介護技術の向上のための学びの機会をもつ。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
生活状況に関して、毎月モニタリングを行うことで、気づき・見直す機会となっている。  
ご利用者やご家族から聴いた情報をミーティング等で共有し、対応・対策が図れるよう努めている。  
日常生活の支援にあたり、受診や散髪、買い物などの日常の支援についても、予定を共有する体制にてスムーズな対応が行えている。毎月勉強会を実施し、介護技術等の学びの機会を持つことができています。  
また、働きやすい職場づくりへの機会を持つことができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	13		14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	7			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	5		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	11	1		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11	1		14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
体調の変化や気持ち等について、毎日の昼ミーティングで情報共有し、早期の対応が行えている。  
また、自ら伝えることが難しいご利用者に対しても、普段から状態把握に努め、いつもと違うということを大切に、体調面や精神面の変化に気付くように努めている。それらを実践・実行するために、基本的な介護は行えていると思われる。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
以前の暮らし方について、把握できていない方もおられる。特に自分の意見や思い等を伝えることができるご利用者の方が生活歴を知らないことが多い。ご本人をより深く理解できるよう、より密な関係へ努める必要がある。現在のご利用者に対して、適切な介護は行えていると思うが、常により安心安全な方法が提供できるよう、新たな介護技術の習得が好ましいが、そこまでは乏しい。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
身体機能だけでなく、定期的にご本人の生活環境などについても見直す機会を持ち、必要に応じ情報共有及び今後について必要な検討を行う。  
基本的な介護技術だけでなく、福祉用具等の情報や新たな介護方法などを学ぶ機会を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月21日(18:30~19:50)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松見、田中、藤本、濱本、奥村、清水、上古、安川、山中、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		7	7		14

前回の改善計画
ご家族やご友人、知人などご本人を取り巻く方々との関係を大切にできるよう、職員一人ひとりが、良い関係が築けるよう常に意識する。ご本人やご家族から、これまでの生活や暮らしを聴かせていただく機会をもち、地域で生活するために必要となる支援が行えるよう努める。必要に応じ、地域の組織・個人と協働して、制度で対応しにくいニーズに柔軟に応える活動の展開ができるように努める。 地域福祉の一翼を担うことができるよう、取り組むべき地域福祉課題を理解するよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
社会における新型コロナウイルスに関する対応策なども徐々に変わり、少しずつ交流できる機会も増えてきている行事企画等の際、ご近所にチラシを配り、交流できる機会が持てるように努めている。また、遠方のご家族等と顔を合わすことができる機会も増えてきている中で、これまでの生活歴や関係性、想いなどを聴くことも増えている印象がある。 運営推進会議や網野町ケアマネ会議などで、地域の現状の理解について分かることが多くある。できることは無いかと検討を行ってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	8		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		9	5		14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	8		14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	10		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	運営推進会議等の内容から、地域における社会資源等について情報交換・共有できる機会がある。 ご本人への支援に関して、ご家族や地域の方等と関係性が希薄ならないよう、適切な介助の量を見ながら提供していたと思われる。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	これまでの生活歴や人間関係などについて、聞くことができているご利用者もおられるが、ご本人を取り巻く関係性の理解までは難しい。どのような支援が必要になってきているのかわかりにくいこともある。地域との連携において具体的な事項がわかりにくい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ご本人のご近所の方や友人等、個人を取り巻く方々との関係を大切に、必要と思われる支援が共同で提供できるように努める。職員がご近所やご友人に出会った際など、良い人間関係を構築できるよう丁寧な挨拶等から関わりを持つよう努める。接遇やコミュニケーション力に関する学びの機会を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月21日(18:30~19:50)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松見、田中、藤本、濱本、奥村、清水、上古、安川、山中、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		11	3		14

**前回の改善計画**

ご利用者の状態等の把握を適宜行うとともに、多機能性ある柔軟な支援が、安定的に行うことができるように、支援内容の確認・点検を行い、定期的な見直しができるようにするための仕組みを作る。  
よりよい暮らしをしていただけるよう、自分たちの事業所だけではなく、社会資源の活用を行うとともに、新たな情報等が得られるように、様々な関係機関や個人等と連携をはかる。

**前回の改善計画に対する取組み結果**

職員の体調不良等による配置人数の影響で、泊まりサービスを実施しない曜日を設けた期間があり、必要時に泊まりサービスのご利用をしていただくという機能性について劣った部分があった。  
ただ、職員の人数が少ない中で、安定的に運営を図るため、業務の改善などを行う機会ともなった。翌々日の予定まで事前に組み、把握することでスムーズな支援なども可能になっている。定期的に体制の見直しを行うところまでは難しく、その都度の対応・検討となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	9	4		14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10	2		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	8	2		14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	11	1		14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ご本人の身体機能だけでなく、生活状況等も把握し、生活保護や成年後見制度の利用なども適宜申請・利用することができる。ご近所の方から、食事の支援を受けているご利用者もおられる。  
受診など予定が分かる際、タクシー等の公共交通機関を利用し、職員が同行し対応するなどしている。  
新型コロナワクチン接種後の体調観察や、体調面から見守りがある環境で過ごしていただく方が良いと思われる場合などに泊りサービスを利用していただくことなど、必要に応じ利用できている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

社会資源の活用については、各個人との関係の中で成り立っているものも多くある中で、把握しきれておらず、活用しきれていないところもあると思われる。  
また、個人同士の関係以外の地域の資源についても把握できていないことも多々あると思われる。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)

地域行事等への積極的な参加を行い、地域の方々との交流の中で、お互いの困りごとの相談や社会資源の把握に繋がるように努める。  
安定的に必要なサービス提供が行えるように、適正人員配置のみならず、業務の効率化を図り、柔軟な支援が行えるよう、支援内容の確認や点検、定期的な見直しができる仕組みづくりを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月21日(18:30~19:50)

6. 連携・協働

メンバー 松見、田中、藤本、濱本、奥村、清水、上古、安川、山中、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	5		14

前回の改善計画
地域ケア会議等の公的な会議や地域組織や地域活動への積極的な参加を行う。 ふれあいホーム桃山を知っていただくことができる取り組みに努める。 利用者中心のサービスが展開できる多職種連携の基盤を整備し、協働する際に必要となる情報共有がスムーズに行えるように、普段から正しく記録ができるように努める。(根拠を合わせて記録するなど)
前回の改善計画に対する取組み結果
地域ケア会議、網野町ケアマネジャー会議等への参加や、地域の行事の際、地域交流スペースの解放等積極的に関りが持てるように努めてきた。また、クレープのキッチンカーに桃山に来てもらう際には、ご近所に案内の手紙を配り、利用していただくようお願いをさせて頂いたりした。 サービス担当者会議やカンファレンスといった改まった形でなくとも、訪問看護や病院、関係機関と密に連絡をとり情報共有することができていた。良好な関係にあると思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	2	9		14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	9	1	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		4	8	2	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	6	3	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	サービス担当者会議での関係機関との連携・協働以外にも、地域包括支援センター主催の会議等に参加することで、サービス機関(医療機関や訪問看護、福祉用具等)との連携も図ることができている。 下岡区の敬老会へ参加し、レクリエーションや口腔ケアに関する講和の実施などもさせて頂いた。 クレープのキッチンカーを呼ぶ際に、ご近所にチラシを配布し、10数名来ていただくこともできた。また、地蔵盆の際には、交流スペースを開放し涼んでいただく場所として利用していただいた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域での防災訓練への参加が行えていない。防災訓練への参加を行い必要な支援の確認や、事業所の立地条件などから、地域交流スペースの活用などの検討をしていくことができて良い。 地域の方々に小規模多機能としての特徴や役割の理解が得られていないと感じられることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	地域の防災訓練や地域行事等への参加を積極的に行う。運営推進会議や地元の方などからご意見等をお聞きさせて頂き機会を持ち、必要な支援の把握を行い、提供できる体制等の整備にも努める。 ふれあいホーム桃山を知っていただく機会ができるよう、事業所に来ていただけるような機会を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月21日(18:30~19:50)

7. 運営

メンバー 松見、田中、藤本、濱本、奥村、清水、上古、安川、山中、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9	5		14

前回の改善計画
事業所としてのケアのあり方について、「理念・目標」を点検・再設定し、自分たちの言葉で理解する機会を設ける。そのためにもナレッジマネジメントを行い、自分たちの強みを再確認する。 職員個人として、時間に追われ心理的な焦りがあっても、ご利用者には感じさせず、適切な態度や行動が行え、よりよい接遇ができるよう、理想となる職員を演じることから始めを意識して行動し、専門職としてその行動が常として定着するよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
事業所としての「理念・目標」の点検・確認が行えておらず、組織・事業所としての強みを職員一人ひとりが理解しているということは難しい。そのため、各職員の価値観により、ケアの優先順位や内容なども異なることがある。時間に追われ、心理的な焦りが出ること、適切な態度や行動に影響しないように意識できていたかの確認までは難しい。各職員が気をつけていること、配慮していることなどを書き出し、意見交換を行い、気付きを持ち、できていないことができるようになるような取り組みを行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		7	7		14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	12	1		14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	11	2		14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	8	5		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	細かな気づきを大切に、意見として出し、日々のミーティングやケア会議等で話し合う機会を持ち、必要な対応等を検討する機会がある。苦情やご意見に関しても、真摯に受け止め、より良いサービス提供ができるように早期に検討をしている。また、早期対応が信頼にも関わることを理解して取り組んでいる。 地域で必要とされる拠点となれるよう、運営推進会議等での意見を聞かせていただき、取り組めるようにすすめている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	自分たちが地域社会に必要とされる拠点となれるように、事業所としてのあり方や強みを活かすことを考えて取り組んでいることは少ないように思われる。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	自分たちの強みを理解した上で、何ができるのかを伝えていくことができるよう、「理念・目標」を点検・再設定し、自分たちの言葉で理解する機会を設ける。苦情や申し立て等については、できうる限り早期の対応がとれるように努める。求められている地域ニーズを常々把握するよう心掛ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月21日(18:30~19:50)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松見、田中、藤本、濱本、奥村、清水、上古、安川、山中、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	3		14

**前回の改善計画**  
誰のためのケアなのかということを定期的に再確認し、ケアの提供に努める。ご利用者が、気持ちよく安心して過ごしていただけるよう人間関係を大切にされた言葉かけを意識する。あいさつの後、必ずその方のための一言を掛けるようにする。  
理念・目標の点検・再設定を行い、自分たちの言葉で、伝えることができるようになる。「知っている」から「できる」になるため、ケアの手順書を作成し、定期的に見直しする機会を持つ。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
誰のためのケアかということについて、ケア会議等でも確認を行っている。ご利用者への挨拶の後、一言付け加えて声をかける職員が増え、ご利用者との関係も良好になっている。理念・目標の点検・再設定については不十分。策定後パンフレット等にも盛り込んでいきたい。訪問時のご利用者毎の手順書の作成が行え、より実践的に「できる」ケアの提供を行うことにつながった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	7		14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	8	4	14
③	地域連絡会に参加していますか		3	8	3	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		10	4		14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
職場内における勉強会や研修会を毎月実施し、学びの機会を持つように努めている。  
地域ケア会議や網野町ケアマネジャー会議などへの参加、京丹後市福祉サービス事業者協議会、近隣の小規模多機能型居宅介護事業所で組織するユニットイン等で情報交換を行いケアに活かすよう努めている。リスクマネジメントについても、勉強会での学びの機会や、ヒヤリハットの内容を深めることで、対応に取り組むことができている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
勉強会の開催をおこない学ぶ機会を作ることにはできているが、参加できなかった職員が、後に確認を行うなど、積極的な情報収集等を行うところまでできていない。  
職場外での研修の機会が少なく、新たな学びの機会や他事業所職員との意見交換の機会が少ない。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
施設内外の研修等への積極的な参加を勧める。  
具体的な内容について、ケア手順書を定期的に見直し機会をもち、確実な支援ができるように努める。  
ご利用者が安全に気持ちよく過ごすことができるよう、建物等の環境整備とケアの振り返りを行うことを務める。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月21日(18:30~19:50)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松見、田中、藤本、濱本、奥村、清水、上古、安川、山中、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	3		14

**前回の改善計画**  
一人ひとりが周りの人の人格を(考え方や価値観等を)大切に(尊ぶ)ことが常にできるよう、学ぶ機会を定期的に持つ。不適切なケアに気が付いた際には、職員間でお互いに意見が言える関係を作るとともに適切に報告できる体制を再確認する。  
不適切なケアが行われていないか、運営推進会議や外部評価の機会に第三者の意見をいただけるように努め、必要があれば改善できるよう努めていく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
トイレへの声掛けなど、他のご利用者へ聞こえてしまうような場合、お互いに注意ができる良い職員関係も構築できてきている。申し送りなども、できる限りご利用者の前でなく、場所をかえて行うことができてきている。脱衣場内の座る場所についても、お互いが見えないように目隠しの設置も行えるなど配慮するよう努めている。外部評価時に確認をいただき、ご意見がいただけるように依頼している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	6			14
②	虐待は行われていない	10	4			14
③	プライバシーが守られている	4	9	1		14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	7			14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	8			14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
身体拘束及び虐待に関する勉強会を実施し、理解を深めると共に現在の状況の点検を行うことができています。定義されている身体拘束や虐待はなく、不適切ケアについても学びを深め、お互いに声を掛け合うことで、良い支援を行うよう努めることにもつながっている。ハード面にも意識を向け、取り組んでいる。成年後見制度の利用についても、現在包括等と連携を取りながら進めているご利用者の方がおられる。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
個人情報の管理について、基本的なところは理解し対応できているが、血圧や検温の値、連絡ノートの記入の際など、日々のケアを行いながらご利用者のそばで記入している内容については、他のご利用者の目に触れることがあり、確認が必要。特に急に呼ばれたりした際に、置いたままになることがある。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
人権やプライバシーに配慮したケアの提供が継続できるよう、勉強会を実施し職員間での理解を深め、不適切なケアから減らすことができるよう努める。お互いに遠慮なく声を掛け合える関係を作る。  
不適切なケアが行われていないか、運営推進会議や外部評価の機会に第三者の意見をいただけるように努め、必要があれば改善できるよう努めていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福) 丹後福祉会	代表者	濱岡六右衛門	法人・事業所の特徴	特別養護老人ホーム2か所・認知症型共同生活介護・ケアハウスの入所施設と、通所介護3か所・訪問介護・訪問入浴・居宅支援事業の居宅サービス、小規模多機能居宅介護2か所を運営(内1か所はサテライト事業所)しています。 ふれあいホーム桃山は、地域交流スペース「陽だまり」を併設し、地域の方々の交流や集える場所として利用していただき、認知症カフェの活動も実施しています。
事業所名	ふれあいホーム桃山	管理者	若狭正展		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の項目に対し、具体的目標を設定し、適切に実行します。目標設定については、運営推進会議に出席いただく方々に、年度初めに確認をしていただきます。	シフト勤務であり、一堂に会することは難しいと思いますが、各個人が記入したものを取りまとめるという方法も行っており、できる限り意見が反映できるように努めていると思われまます。	できている点は、継続してもらいたい。わかりにくいところもあるので、職員間で反省し、必要な点は改善してもらいたい。スタッフの意見を反映していこうという姿勢が感じられる。	事業所を少しでも良くするため、具体的な実践も示せるよう自己評価だけでなく、補足の説明も具体的に言い、意見がいただけるよう努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	プライバシーが保たれ、ご利用者が主体的に活動し、楽しみが持てる環境整備に努めます。衛生管理に努め、清潔を保ち気持ちよく過ごせる空間づくりに努めます。	コロナ対策も万全で、開放的でよいと思いました。 玄関に鍵をすることは、場合によっては虐待にもなりかねないと思いますが、虐待の勉強会などにも取り組んでいる中で、確認もされていることは良いと思います。	地域交流スペースを利用している際に、事業所内のご利用者の様子を見ると、笑顔で体操や懇談をしてお楽しそう。事業所にフラッと気兼ねなく立ち寄れるような場所になることができれば良いと思いますが、目的もなく行くことは難しい。	気持ちよく過ごすことができるよう衛生管理に努めます。 認知症のご利用者が落ち着いて過ごせるようプライバシーや安心できる環境づくりに努めます。
C. 事業所と地域のかかわり	地域活動や行事などに積極的に参加を行います。地域交流スペースや事業所の相談窓口機能等が、より利用していただきやすいものとなるよう地域ニーズ等を聴かせていただく機会を持ち、対応を検討します。	事業所の場所が分かりにくいことで、看板を設置して改善された。ただ、本通りから一つ奥の筋になるため、どうしてもわかりにくさがある。 避難訓練の参加は行えていませんが、地藏盆などの行事への参加が行えた。	事業所が相談しやすい場所で、柔軟な対応ができるようお願いしたい。 車輛に丹後園の名前が先に出ており、事業所の認知が低い。 防災訓練の際など、一緒に参加する中でアピールをしてはどうか。紹介ビデオを作成してはどうか。パンフレットを作成してはどうか。	地域活動や行事への参加を行います。事業所をより知っていただくことができるよう、認知度を高められるよう、事業所の役割や活動を知っていただく機会を設けます。パンフレットの改修を行います。相談してもらいやすい様、事業所の特徴や何ができて、何ができないかをまとめ、理解を深めていただけるよう努めます

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>ケアプラン作成時など、特に個別支援として必要があるケースなど、民生委員さん等の地域の方々のご理解やご協力がいただけるよう丁寧な情報共有が行えるよう努めます。</p>	<p>以前の様に、まだ外出は控えている傾向にあります。 今後できる限り外への気持ちに向く支援を行ってみたい。</p>	<p>区長さんや民生委員さんが困ったときに助けてほしいと言おうと思った際に、事業所は何ができるのかということもわからないので声をかけにくいように思う</p>	<p>お一人お一人のご利用者の住む地区の行事等へ一緒に参加する機会を持つよう努めます。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>区長さん、民生委員さん、老人会長さん、包括支援センター職員と共に地域の困りごとや心配な方に対する対応・対策を検討し、情報共有を図ります。 情報共有を行う中で、地域ニーズや地域課題についても把握し、事業所として支援できる内容などを考えます。</p>	<p>会議で情報共有を図っていると思います。地域の困りごとなどについても聞かせていただくことができています。 ご近所の方で、独居の高齢者で、他の方々と関係が無く支援がないなど、心配に思える方のケースについても検討を行うことができました。 事業所の日々の努力、コロナ対策、利用者の様子など分かりやすく説明されていた。</p>	<p>個人情報のこともあり、地域で困った方がおられても、相談したりすることが難しい。</p>	<p>様々な意見を参考にし、今後のサービスの質の向上につながるよう努めます。 また、さらなる地域交流の場を拡げられるように努めます。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>地域の防災訓練に参加させていただきます。 運営推進会議等の際に、火災避難訓練の実際の状況を見ていただき、講評をいただきます。 風水害等の大規模災害訓練やBCPの見直しを行います。 一時的な避難場所としての地域交流スペースを利用していただけるといったような、事業所として地域の方々への支援が行える方法を検討します。</p>	<p>事業所は定期的に防災訓練を義務付けられ、独自行っていることを知っている。 訓練を見学させてもらったが、事前に計画書を見せていただくによりありがたいと思います。 火災の避難訓練を見学しましたが事業書も利用者も真剣に取り組んでいました。</p>	<p>夜間の場合が少し心配でしたが、事業所から100mの所に消防署があるので安心です。 避難場所として期待します。 事業所は非常災害時なども割と安全な場所にあるため、避難場所などとしても活用できるように思われる。</p>	<p>職員一人一人がきちんとした対策を取れるよう、最低年に1回は消防署より指導を受ける。 また、避難訓練及び連絡訓練を実施する。 備蓄品の保管、期限の管理を定期的に行います。</p>